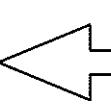
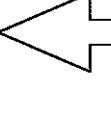
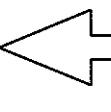


## 言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った 国語科の授業実践例

江田島市立能美中学校

- 1 学年・単元名 第2学年 「古典に親しむ」扇の的ー「平家物語」からー
- 2 本時の目標 「平家物語」の作品について理解し、紹介文を書くことができる。
- 3 本時の工夫点 既存の知識やプリントの情報を元に、紹介文を書くために必要な情報を取り出し、要点をまとめさせる。

### 4 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
1 学習内容の把握  「平家物語」に関する情報を理解し、紹介文を書こう。	<ul style="list-style-type: none"><li>生徒の「平家物語」に関する興味・関心を引き出すために、図書室にある「平家物語」の本を提示する。</li></ul>	
2 情報整理  ・「平家物語」について知っていることを紹介する。	<p>受け答えをする技術</p>  <p>発表の仕方を例示し、「主語」「述語」を意識させる。また、プリントから読み取ったものについては、情報元を指定させる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「平家物語」に関する情報を収集するために、簡単なあらすじや写真、年表等をプリントにまとめ、配布する。</li><li>プリントから「平家物語」を紹介する内容を吟味（ラベリング）させ、発表につなげさせる。</li><li>紹介文を書くときの要点になるように、項目立てでキーワードをグループ化し、板書する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>知っていることや、プリントから読み取ったことを、聞き手に分かりやすく話している。 (授業観察)</li></ul>
3 文章の構成  ・紹介文を書くために段落構成について考える。	<p>構成を考える技術</p>  <p>分類する視点（項目）を提示し、紹介文を書くために、どの順で書くと分かりやすくなるのかを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「成立時代」「登場人物」「あらすじ」「継承方法」等、書く視点を明確にさせ、段落構成を考えさせる。</li></ul>	
4 文章表現  ・「平家物語」の紹介文を書く。	<p>要点をまとめる技術</p>  <p>様々な視点で紹介されたことを各自整理させ、ワークシート（原稿用紙）に600字～1000字でまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>書きにくい生徒には、板書しているキーワードを示しながら書くように指導する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>要点をとらえて紹介文を書いている。</li><li>原稿用紙の使い方（書き方）に沿っている。 (授業観察・原稿用紙)</li></ul>
5 表現活動  ・紹介文を発表する。	<ul style="list-style-type: none"><li>体の向き、声の大きさ・調子等について注意して発表させる。</li></ul>	
6 本時のまとめ ・自己評価	<ul style="list-style-type: none"><li>3文45字以上でまとめさせる。</li></ul>	